# 授業改善推進プラン　　成果と課題

教科（　理科　）　　学年（　１学年　）

## 目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。

## 授業・アンケート等の課題分析

〇授業のねらいの提示、授業を振り返る場面がある、「わかった」「できた」と感じるという項目では、否定的な回答をしている生徒が 2～4 名（6～13%）いた。

〇学び合う活動を通して、自分の考えを広げられているとほとんどの生徒が回答（あまり当てはまらない、当てはまらない 1 名（3%）、前回 5 名（18%））している。しかし、「学ぶ楽しさの実感」につながっていない。

## 成果と課題

### 成果

〇個人で実験できるよう環境を整えたことで、今まで以上に責任をもって準備・片付けを行い積極的に実験に取り組むようになった。

〇ICT を活用し、実験の結果をグラフにしたことにより、それを考察に生かせるようになった。

〇振り返りシートや実験・観察プリントの感想などから、生徒のつまづきを把握し、次回の授業での補足説明を行った。フィードバックを繰り返したことで、学習内容の理解を深めることができた。

### 課題

〇既習事項の定着をはかるため、学習内容と関連づけた復習の時間の確保

〇学習分野によって、関心や学習内容の定着に大きな差が見られた。「わかった」「できた」と実感できるスモールスッテップを繰り返す授業展開

# 授業改善推進プラン　　成果と課題

教科（　理科　）　　学年（　2 学年　）

## 目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。

## 授業・アンケート等の課題分析

ねらい・流れを示すことが定着してきて、見通しをもって取り組む姿勢が見られる。
一方で、「学び合う活動を通して、自分の考えを広げられている」、「わかった」「できた」という項目では、否定的な回答をした生徒が 3 名（19 人中）いた。

## 成果と課題

### 成果

〇実験・観察（「電気の世界」の分野では、回路のモデル（回路図）をもとに、1 人で回路を組みたて、実験）では、1 人で行えるよう工夫したことで、各自が責任をもって実験に取り組めるようになった。
〇振り返りシートや実験・観察プリントの感想などから、生徒のつまづきを把握し、次回の授業での補足説明を行った。フィードバックを繰り返したことで、学習内容の理解を深めることができた。
〇毎回の実験・観察レポートでは、必ず結果・わかったこと（考察）・感想を記入し、それに対する指導を 2 年間継続して行ってきた。その結果、ほとんどの生徒がきちんと記入し、提出することが定着してきた。

### 課題

〇スモールステップを繰り返すことによる、「わかった」「できた」と実感できる授業展開
〇既習内容の定着のため、学習内容と関連付けた復習の時間の確保

# 授業改善推進プラン　　成果と課題

教科（　理科　）　　学年（　３学年　）

## 目指す授業

探究的な活動を充実させ、見通しをもって実験・観察を行い、自分の考えを深められたと生徒が実感できる授業を目指す。

## 授業・アンケート等の課題分析

〇授業を振り返る場面があるという項目では、否定的な回答した生徒が４名（11 人中）いた。
〇自分の考えを書いたり、発表する機会が与えられていないと１名が回答している。また、学び合いを通して、自分の考えを広げられている、「学ぶ楽しさ」を感じるという項目では、３名が否定的な回答をしている。

## 成果と課題

### 成果

〇実験・観察では、安全に配慮しながら１人で行えるよう工夫したことで、各自が責任をもって実験に取り組めるようになった。
〇毎回の実験・観察レポートを継続して指導してきたことで、結果・わかったこと（考察）・感想をより丁寧に記入してくる生徒が増えた。

### 課題

〇ねらい・流れの提示と振り返りを徹底した上での、学習内容を振り返る時間の確保
〇話し合い活動などで、他人の意見を聞いた後に自分の考えを練り直す時間の確保と、他人の考えを取り入れたり自分の考えを広げられたりしたと生徒が実感できる授業
〇規則性や原理などが日常生活や社会で活用されていることにも触れる。また、単元ごとの振り返りで、各自が興味・関心をもったことなどを探究し、「学ぶ楽しさ」を実感できるような場面を設定する。